

十勝圏（19市町村）における連携項目の検討結果等について

■ 19市町村における検討結果（H23.2～H23.5）

作業部会名等		提案事業数	作業部会等検討結果			協定項目
			継続協議	対象除外	実施	
作業部会	産業振興・地産地消	12 (25)	2	2	8	8
	医療福祉	7 (7)	2	1	4	4
	教育	8 (7)	3		5	2
	人材育成	1 (3)			1	1
	企画	6 (6)	1	2	3	3
	単独の3部会	3 (3)	2		1	1
個別事項等		7 (9)	2	4		
合計		44 (60)	12	10	22	19
政策分野	生活機能	31 (40)	8	5	18	15
	結びつき・ネットワーク	10 (15)	3	4	3	3
	圏域マネジメント	3 (5)	1	1	1	1

統合整理

■ 十勝圏における定住自立圏の推進に当たっての基本的な考え方

- 全国でも最多となる19市町村という大きな圏域であることから、まずは、オール十勝での定住自立圏を形成し、地方分権に対応していくことが重要である。
- 平成23年度（当初）に締結する協定は、スタートラインであり、今後、十勝19市町村の連携・協力関係をより深め、定住自立圏の取組みを発展させていく。

したがって、当初の連携の協議は、次の考えですすめた。

- ① 各市町村にとってメリットがあり、既存事業を含め、早期に実施可能な取組から優先的に連携していく。
- ② 協議に時間を要する取組等については、継続協議とし、必要に応じて追加協定や共生ビジョンの見直しで対応する。

※（ ）内の数字は、当初提案事業数

※検討結果の分類

区分	実施の方向性	形成協定締結	共生ビジョン
◎実施	H23 当初での実施をめざすもの	H23 当初協定に記載	H23 ビジョンに記載
△継続協議	追加協定に向け継続的に協議するもの	必要に応じて追加協定	必要に応じてH24以降のビジョンに記載
×定住対象除外	定住自立圏構想の取組対象としないもの	—	—

十勝圏における連携項目の検討結果一覧表

資料-4

政策分野	NO	分類	細分類	提案事業	整理統合	当初希望数	作業部会					実施の方向性			協定項目		
							グループ化					個別事項	区分※			分類(項目)	取組事項
							産業振興	医療福祉	教育	人材育成	企画		実施	継続協議	対象除外		
生活機能の強化	1	①-a 医療	(1)地域医療体制の充実	①帯広厚生病院救命救急センター運営費補助		17						◎			1. 医療	(1) 救急医療体制の確保	
				②帯広高等看護学院分担金		18							◎				(2) 地域医療体制の充実
				③専門医療科目の医師の出張診療		追加								△			
	2	①-a 医療	(2)救急医療体制の充実	救急医療体制の確保・連携		追加							△		2. 福祉		
				②母子家庭等就業・自立支援センター事業		13										×	
	3	①-b 福祉	(1)福祉関連施設の運営等	③地域活動支援センター事業		18						◎			(1) 地域活動支援センターの広域利用の促進		
				④子育て支援事業【保育所の広域入所】		14							◎				(2) 保育所の広域入所の充実
	4	①-b 福祉	(2)子育て支援の充実	①子育て支援事業【保育所の広域入所】		14						◎			3. 教育	(1) 図書館の広域利用の促進	
				①ふるさと給食事業		8										×	(2) 生涯学習の推進
	6	①-c 教育	(2)図書館	①十勝管内図書館の広域利用		19						◎			(1) 図書館の広域利用の促進		
				③十勝管内図書館職員の人材育成		追加							◎				
	7	①-c 教育	(3)教育施設の共同利用	①公共施設の共同利用推進事業		12						◎			(2) 生涯学習の推進		
				②図書資料分担保存		12								△			
	8	①-c 教育	(4)文化・スポーツ・体験学習	①スポーツ振興促進事業		11						◎					
				②文化講演共同事業		13							◎				
	9	①-e 産業振興	(1)農商工・産学官連携・地域ブランド	①農商工・産学官連携による地域ブランドの開発	『農商工・産学官連携及びブランド化の推進』	17						◎			4. 産業振興	(1) 農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進	
				②十勝ブランド発信事業		18											
	③十勝産業振興センターの運営	15															
	④(財)十勝圏振興機構	16															
	10	①-e 産業振興	(2)観光	①広域観光の推進	『広域観光の推進』	19						◎			(5) 広域観光の推進		
				②観光ネットワークの構築		17											
③観光情報のネットワーク構築				15													
④高速ICを生かした地域振興				16								◎					
14		(6)その他	②十勝シーニックバイウェイ		16												
			イベント、大会、各種会議等の周辺自治体での開催		追加												
21	②-e 地域内外の住民との交流・移住促進	(2)地域内外の住民との交流	①グリーンツーリズム事業		17									7. 鳥獣害防止対策の推進			
11	①-e 産業振興	(3)鳥獣害防止総合対策	①鳥獣害防止総合対策		17						◎						
12	①-e 産業振興	(4)企業誘致	①企業誘致の推進		15						◎			(3) 企業誘致の推進			
13	①-e 産業振興	(5)雇用	①帯広職業能力開発センター		13							△		(4) 中小企業勤労者の福祉向上			
			②十勝勤労者共済センターの運営 『中小企業勤労者の福祉向上』に変更		15						◎						
14	①-e 産業振興	(6)その他産業振興	①圏域内の畜産飼料自給率の向上	『農業振興と担い手育成』	8						◎			(6) 農業振興と担い手の育成			
			③十勝公共牧場の広域化		9												
15	①-f その他	(1)環境・低炭素社会	④環境モデル都市の取り組みの普及拡大 『地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築』		13						◎			5. 環境	(1) 地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築		
			(防災)	(災害情報の提供)	④地域防災体制の構築		追加						◎				
16	②-a 地域公共交通	(1)地域公共交通	①生活交通路線確保事業		18						◎			1. 地域公共交通	(1) 地域公共交通の維持確保と利用促進		
			②道路景観の設備		9								×				
18	②-c 道路等の交通インフラ整備	(1)交通インフラ整備	②道路景観の設備		9								×	2. 地産地消の推進			
			①農産品販売システムの構築		11						◎						
19	②-d 地域の生産者と消費者等の連携による地産地消	(1)地産地消	②地場産品愛用運動の展開	『地産地消の推進』	15						◎			(2) 地産地消の推進			
			③地産地消の推進		15												
20	②-e 地域内外の住民との交流・移住促進	(1)移住促進	①移住・交流促進事業	グリーンツーリズムに統合	19						◎			3. 移住・交流の促進	(3) 移住・交流の促進		
			②地域資源を活用した都市農村交流拡大と定住促進		12												
22	②-f その他結びつきやネットワークの強化	(1)その他結びつきやネットワークの強化に係る連携	③移住体験・空家バンクの構築			15							△				
			④十勝版ワンストップ窓口の設立			12								×			
2	①-a 医療	(2)救急医療体制の充実	①救急搬送混雑時の連携協力	『消防の広域化』	13							△					
			②救急隊員の育成		13												
23	③-a, b, c 圏域マネジメント能力の強化	(1)人材の育成、職員等の交流	②職員研修の合同実施	『職員研修の合同実施及び圏域内人事交流』	19						◎			1. 人材育成	(1) 職員研修の合同実施及び圏域内人事交流		
			④専門研修の実施		18												
③職員派遣研修等の実施	15																
24	③-d 圏域マネジメント能力の強化	(1)その他圏域マネジメント能力の強化	①コンピューターシステムの共同利用・共同開発		11							△					
			②税金滞納整理業務		18								×				

※1 実施の方向性の区分 ◎実施:H23での実施をめざす △継続協議:H24以降の協定に向け継続的に協議 ×対象除外:定住自立圏構想の取組対象としない

継続協議事項等一覧表

1. 継続協議項目一覧

分類	連携取組(想定)の内容	継続協議となった理由
医療	救急医療体制の確保・連携 ○町村と連携し、圏域内の一次・二次救急医療体制の確保・維持を図る。	○一次救急では町村独自で既に実施している町村もあり、全ての町村に対して負担を求めるのは困難である。 ○費用負担の手法、町村会における対応等についての協議が必要である。
〃	専門医療科目の医師の出張診療 ○町村の病院等で行っていない診療科目の専門医を町村に派遣し、出張診療を行う。	○新たな専門科目に対する住民ニーズ、科目設置に係る備品等の対応、派遣経費の算定や中心市と町村の役割など検討すべき点が多い。 ○これまで町村独自で実施してきた個々の経緯がある。
教育	図書資料分担保存 ○圏域内の図書館で、地域・郷土に関する資料等を分担保存する。	○データ集約に時間と労力がかかる。 ○保存方法や保存スペースの確保が必要である。
〃	文化財の保護 ○町村に市の学芸員を派遣し、文化財の調査・保存・保護を共同で行う。 ○文化財の利活用を図る。	○学芸員派遣経費の負担が増加する。 ○文化財活用に市町村間の温度差がある。
	野外活動体験共同事業 ○各市町村が実施している野外活動体験事業について、他市町村の住民の受入を推進する。	○受入れ体制の整備が困難である。 ○広域実施を希望する市町村が少ない。
産業振興	帯広職業能力開発センター ○圏域内の事業者に対して帯広職業能力開発センターの利用を促す。	○職業能力開発、季節労働者対策だけでなく、雇用問題全般について、十勝が連携して取組める事業の協議、洗い出しが必要である。
〃	季節労働者の通年雇用促進 ○通年雇用の促進に向けて、圏域内の事業所、労働者へのPR活動を実施する。	
防災	災害等緊急時の連絡体制の構築 ○FMラジオを活用して、災害など緊急時の連絡体制の強化を図る。	○FMラジオ局や町村の意向を確認するとともに、代替策等の研究が必要である。
その他	消防の広域化 ○十勝圏の消防の円滑な運営を図る。	○現在、十勝圏複合事務組合(消防広域推進室)、管内市町村において、検討中である。
移住交流	移住体験・空家バンクの構築 ○移住・交流メニューを共同開発する。	○連携事業のすすめ方などについて検討が必要である。
その他	消費生活相談業務 ○帯広市消費生活アドバイスセンターと町村の窓口が連携することにより、圏域の消費相談機能の向上を図る。	○各町村の要望と受入事業内容の整理が必要である。 ○業務量の増加に伴う相談体制の強化と受託条件の整理が必要である。 ○費用負担の問題の整理が必要である。
その他	コンピュータシステムの共同利用・共同開発 ○コンピュータシステムの共同利用・共同開発により、システム導入・運用経費等の削減を図る。	○業務の標準化、帳票様式の統一、システム更新時期の調整、データ移行などの課題があり、早期の事業実施は困難である。

2. 継続協議項目一覧（一部の取組は、協定締結）

分類	連携取組(想定)の内容		継続協議となった理由
教育	生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域の施設において、個人や団体などの利用条件を統一する。 ○施設の利用を促進するため、圏域の住民を対象とした教室、講座、講演会等を共同開催する。 ○施設整備、利用促進に係る情報交換の場を設置する。 ○合宿、大会誘致のために市町村間の連携体制の構築を図る。 ○文化講演会などを共同で開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設により規模や設備、制度が異なる。 ○指定管理者を導入している。 ○人員に余裕がない。 ○参加者の交通機関の確保が難しい。
産業振興	鳥獣害防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○行政区域界をまたいだ鳥獣の駆除や合同での駆除を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政区域界をまたいだ捕獲区域の設定や合同駆除の体制整備について、関係市町村との協議が必要である。
移住交流	移住・交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○移住希望者のニーズ調査を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○調査の目的、対象、方法、経費負担などの検討が必要である。

3. 対象除外項目一覧

分類	連携取組(想定)の内容	対象除外となった理由
福祉	母子家庭等就業・自立支援センター事業 ○就労に関する相談、技能取得、就業情報の提供など、一貫した就労支援サービスを提供する母子家庭等就業・自立支援センターを設置する。	○北海道が帯広市社会福祉協議会内に十勝全体を対象に設置済みである。(北海道の事業である)。
教育	ふるさと給食事業 ○圏域全体で地場産食材を活用した食育を推進する。 ○地場産品・郷土料理の調査や検討を行う。 ○学校給食用物資の共同購入を行う。	○当面は、全市町村で組織する十勝管内学校給食研究協議会での議論を深めることが効果的である。
産業振興	十勝家畜屠場の再編整備 ○十勝の家畜屠場を再編整備し、処理能力の向上や、ブランド化に必要なHACCPなどの導入を図る。	○圏域の屠場は、帯広市内と池田町内2か所あるが、現在、再編整備の動きはない。 ○要望活動に限れば、必要に応じて可能な形で連携する方が現実的である。(定住の枠外で協力体制を持つ方がよい。)
〃	プレミアム商品券の発行 ○圏域で使用可能なプレミアム商品券を帯広市が発行する。	○帯広市でプレミアム商品券を発行する予定はない。
防災	防衛施設維持拡充対策 ○圏域の防衛施設の維持拡充を図る。	○要望活動に限れば、必要に応じて可能な形で連携する方が現実的である。(定住の枠外で協力体制を持つ方がよい。)
道路等インフラ整備	道路景観の設備 ○圏域で案内標識の統一を図る。	○十勝全域が網羅されているシーニックバイウェイ事業により、統一した案内看板の標識を設置していくことが効果的である。
移住交流	十勝版ワンストップ窓口の設立 ○圏域内の移住関連情報を提供する十勝版ワンストップ窓口を開設するとともに、移住希望者等へのきめ細やかな対応をはかるため移住コンシェルジュを配置する。	○移住関連情報の一元化、コンシェルジュの確保・育成など多くの課題があり実現は困難である。
その他	十勝振興ビジョンの策定、推進 ○圏域の活性化のために、全市町村が共有する十勝の将来ビジョンを策定、推進する。	○十勝圏域を対象とした計画との整合性や十勝の振興ビジョン策定の目的、必要性などについて様々な意見があり、各市町村が連携して取り組むことは困難である。
〃	公共施設の共同利用 ○葬斎場を共同利用する。また、葬斎場を圏域で管理・運営するとともに、適正に配置することにより、経営の効率化を図り、経費を縮減する。	○現在でも、災害時等には、他市町村からの受入を行っている。 ○設置箇所数を減らした(共同設置)場合、葬炉の故障等により受入ができないおそれがある。
〃	税金滞納整理業務 ○十勝市町村税滞納整理機構において広域的な財産調査を行い、滞納処分の執行停止についての適否の判定情報を市町村に提供する。	○定住自立圏の3つの政策分野に該当しないと思われる。